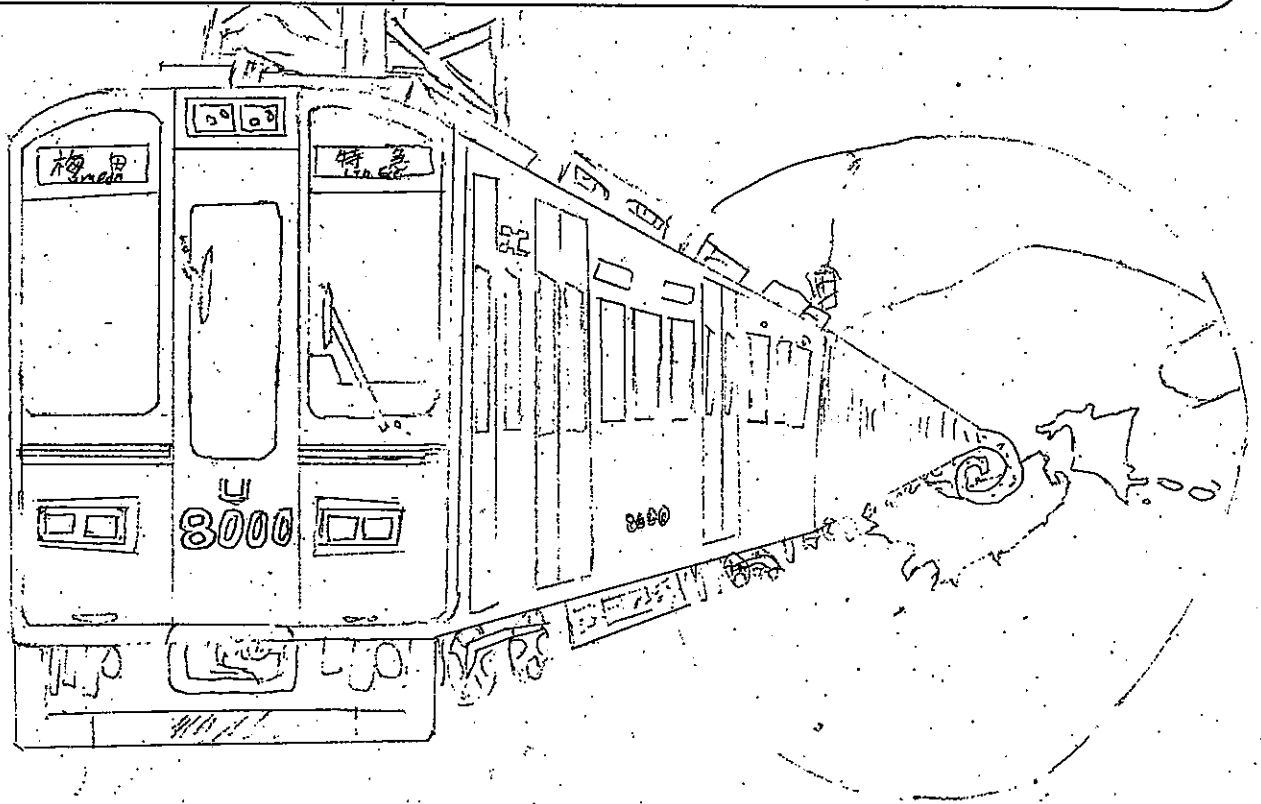


テーマ：

宝塚市のカルカウエー



グループ名：

SC未来グループ

メンバー：

榎野 暁太郎、川原 煌士、澤田 一陽  
真辺 心美、新戸 愛杏々、鍛田 奏春  
道 壮朗、奥田 陽人

提案の理由（今の状況と課題）：

私たちは去年、「全ての子どもが意見を言える場所を作るためには」をテーマにして話し合いました。しかし回数が少なく十分に議論できなかったため、今年も引き続き議論しました。前回、話し合いの中でスクールカウンセラーの話題が出ましたが、それについて話し合えなかったため、今年もスクールカウンセラーをテーマに話し合いました。現在、宝塚市の学校に通っている人たちの中に悩みを抱えている人が多いのにも関わらず、児童や生徒によるスクールカウンセラーの利用が少ないと分かったからです。

なぜ、このような人たちが多いのかを私たちが考えたところ、次のような課題が見えてきました。まず児童や生徒がスクールカウンセラーの所に行くことにあまり良いイメージを持っていないということです。スクールカウンセラーの所に行くのはとてもおおごとだというイメージがあり、もしスクールカウンセラーの所に行くとなると周囲から変な目で見られるので、たとえ気軽な相談であったとしても、スクールカウンセラーの所に行きづらくなってしまっています。また、スクールカウンセラーに秘密にしてほしい悩み事などの相談をしたとしても、その秘密をスクールカウンセラーの人が守ってくれるのか不安になってしまったり、そもそもスクールカウンセラーに面談を申し込む時、担任の教師を通さなければいけない学校があり、教師に知られたくないことがこの時点ではばれてしまうおそれがあります。このような不安を感じてしまう背景には、教師による児童や生徒に対するさまざまな不信感をいだかせるような行動があります。

提案：

それらの課題を解決するために3つの提案をします。

1つ目は、スクールカウンセラーの環境についてですが、相談しやすい環境といってもいろいろな種類があります。まず、相談室へ行きやすいように生徒・友人・教師が協力し、行った人を周りがケアする環境を作ってほしいです。また、暗いイメージのある相談室を明るく使いやすい、アットホームでリラックスできるものにしてください。具体的には、部屋を良い匂いにしたり、カーペットを敷いたり、中庭の花が見えるようにしたり、ぬいぐるみを置くなど行きやすい環境にしてほしいです。そして、学校による差をなくし、どの学校でも先生などに予約せずにスクールカウンセラーを利用できるようにしてほしいです。

2つ目は、広報についてですが、スクールカウンセラーの認知度を上げてください。具体的には、スクールカウンセラーの存在を知ってもらうために研修会や講習会をしてほしいです。大人数の子どもの前に出てくることで、カウンセラーを身近に感じられると思います。また、スクールカウンセラーの方がどの学校でも、『相談室だより』のようなものを作ってほしいです。なぜなら、スクールカウンセラーの方によっては大人数の子どもの前で話すのが苦手なカウンセラーの方がいるからです。

3つ目は、スクールカウンセラーの内容として大切にしてほしい提案です。私たちは、市の職員の方から説明を受け意見交換をして、スクールカウンセラーの大切さが分かりました。具体的には、いじめやトラブルに悩んでいる子どもたちに、先生や保護者とは別の方向から寄り添ってくれる存在だからです。しかし、子どもからの相談よりも保護者や教師からの相談件数が多いと知りました。だからこそ、保護者よりも子どもと向き合うようにしてください。早めに、傷が深くなならないうちに相談できるようにしてほしいです。

提案を実現するために、わたしたちができること：

提案を実現するために私たちができることは、スクールカウンセラーを知って利用してもらうためや、スクールカウンセラーの所に行くことに対するイメージを良くするために、手書きでチラシを作成することです。私たち子ども委員がチラシを作るので、各クラスや廊下に掲示できるように配ってください。大人でなく子どもがチラシを作成することによって、みんなにスクールカウンセラーについて知ってもらい、子どもが気軽に相談室に行けるようになります。相談室では、必ず相談しないといけないというわけではなく、自分の楽しかったことや日常生活のことなどを話しに行くことだけでも良いです。

スクールカウンセラーは特別な存在ではありません。なので、自分で抱え込まずに子どもが気軽に相談室に行けるようにしたいです。